

## 個人向けバルク利用への移行に関するアンケート結果について

先に、スーパーコンピューティングニュース Vol.5, No.5 にて、「個人向けバルク利用への移行に関するアンケート」をお願いしました。ご多用のところ、ご回答いただきました利用者の皆様には、お礼申し上げます。

アンケート結果をとりまとめましたので、下記のとおり報告致します。なお、アンケート結果は、今後のサービス等の参考にしたいと考えています。

### 1. アンケート内容

(1) 従量制サービスを廃止し、バルク利用に移行することについて

バルク利用への移行を希望

現行の従量制サービスの継続を希望

その他 ( )

ご意見:

(2) 「バルク利用に移行した場合、利用負担金額の目安について

・個人向けバルク利用で希望する月額:( )

サービス内容などの意見:

(3) (2)の金額で利用したい計算機リソースについて

・希望するノードの性能及び最大並列ノード数:

(( 8 GFlops , 14.4 GFlops ) )

・総主記憶メモリー容量及び総拡張メモリー容量:

( )

・磁気ディスク容量:( )

(4) その他(現行のバルク利用を含む各種計算機サービスなど全般)ご要望

ご意見:

### 2. アンケート集計結果

(1) 従量制サービスを廃止し、バルク利用に移行することについて

移行希望	現行希望	その他
27%	40%	33%

(2) 「バルク利用に移行」した場合、利用負担金額の目安について

希望月額	平均値	最大値	最小値
	¥36,346	¥150,000	¥1,500

(3) (2)の金額で利用したいリソースについて

	平均値	最大値	最小値
CPU (GFlops)	13.1	14.4	8
CPU並列個数(ノード)	26.1	64	1
主記憶メモリー容量 (GB)	238.5	1,024	0.5
拡張メモリー容量 (GB)	5.5	8	0.5
磁気ディスク容量 (GB)	20.9	100	0.3

### 3. アンケート意見

#### (1) 従量制サービスを廃止し、バルク利用に移行することについて

- ・いずれでもよい。
- ・バルクの運用の仕方により移行するか決める。
- ・基本的にはバルクへの移行に賛成だが、何らかの従量課金は必要。
- ・金額次第なので回答出来ない。
- ・現在の計算時間は3000円コースの基本料金分(900時間)くらいなので、利用実感として従量制とは感じられない。この料金システムに満足している。
- ・個人的には従量制の方が有利となるが、貴センター全体の維持にかかわることであり、短期的利益は問題としない。
- ・バルク負担金額が個人で負担可能であれば、移行しても構わない。
- ・バルクシステムとしても、特定月のみの利用が可能であれば移行しても良い。(現行のバルクでは、例えば夏休み期間中に集中して計算させたい場合無駄が生じる。)
- ・完全にバルクにしてしまうと無駄なジョブ(デバッグ不十分なジョブが不必要なパラメトロックスタディ)が増える恐れ。
- ・負担金額による。私の現状では、今の基本負担金1,500円コース程度の範囲で十分であるので、これと同程度の金額でのサービスが(形は何であっても)継続、維持されることを望みます。

#### (2) バルク利用に移行した場合のサービス内容などの意見

- ・現在月々3000円なので5000円までが許容範囲。
- ・年間5万円程度が現実的限界ではないか。
- ・若手の助手などが科研費に依存せずに校費で安定的に利用しようと思う場合、年額10万円が限度かと思えます。
- ・リソース量は少なくてよいので、個人が気軽に使える金額での利用枠を残して欲しい。バルク利用で大幅値上げになるならば利用できない。

#### (4) その他の要望

- ・バルク利用の利用率が高いことがセンターニュースに書かれていたが、単に年間契約の金額が高いため、「契約した以上は使わなければ損」という心理が働いて、計算量が多くなっているということはないか？
- ・主たる利用資源が運用支援システムであり、こちらのサービスの去就が大問題である。課金方式については負担可能でさえあればさしたる問題とは考えていない。
- ・大規模数値計算ではESキューを使わざるを得ないが、ESキューは現行バルクでは共有キューとなっている。バルク利用者(ES利用者)が増えるとバルクを使う利点が小さくなってしまわないでしょうか。
- ・研究費が十分あるわけではないので利用負担金額は出来る限り安くしてほしい。
- ・デバッグ用に優先度の高い短時間用のクラスが欲しい。  
4並列で4倍課金されるのは納得いかない。4並列で2倍、8並列で4倍程度では？
- ・いつも安定した運用に感謝しています。バルク利用への移行も1つの方向ですが、従来に比べて大幅な利用者負担増とならぬようお願い致します。
- ・現行のバルク利用は、研究室単位で多数の大学院生などが利用する場合などに特に有用であり、大規模計算に大いに活用してほしいと思います。その一方、共同利用センターとして利用者の‘すそ野’を広げる意味からも、個人単位の利用者にも手軽に使えるサービス形態、環境を持ち続けてほしいと思います。